



NO. 325

2020. 7. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センターB1F
発行責任者 小泉 いと子
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623
<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>
定価 10円

大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

2019年度(平成31年度・令和元年度)
事業報告について

令和2年6月に理事会と評議員会を、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、書面による決議により開催し、議案として2019年度(平成31年度・令和元年度)事業報告書(案)が承認されましたので、その内容の一部を報告します。

事業概要 (一部抜粋)

2020年(令和2年)4月より、いわゆる「働き方関連法案」の一つの柱である同一労働同一賃金の原則が適用されることになり、法人内各規程に雇用形態間の不合理な待遇格差のある規程を精査し、法の主旨に合致するように見直しを行い改正しました。

また、障がいがある人の高齢化、重度化が喫緊の課題となっており、当法人の各事業所においても今後はより支援が必要となる状況も見込まれます。そこで、ワークスいけじまの施設整備を2020年度(令和2年度)に実施することにし、併せて東成育成園についてもあり方の検討を行い、支援内容を充実させる方針のもと、2020年(令和2年)4月に生活介護として一本化することにしました。

ソフト面である人材育成の面については、提供しているサービスの質を向上させるため、各事業所圏域の職員で組織している研修企画委員会で、支援現場で活用できる知識と技術の習得に繋がる研修を企画し、内容の充実を図っております。

2019年度(平成31年度・令和元年度)においては、日常業務の振り返りとして、法人内事業所の職員向けに第2回実践報告会を開催しました。その結果、事業所内での課題や取り組みを職員全体で共有することができ、さらには発表する職員だけでなく、事業所全体で資料制作に取り組んだことにより、職員の一体感につながりました。さらに実践報告の内容を冊子化することで研

修意欲の向上にもつなげました。

ハード面である法人内の事業所の建物については、建築年が最も浅いものでも1999年(平成11年)に完成した福島育成園となり20年以上が経過しています。その中でも港育成園では、1989年(平成元年)の建築当時の基準により建てられていた敷地北面のブロック塀があったため、万が一の倒壊に備えて一部補助金(大阪市ブロック塀等撤去促進事業補助金)を利用してフェンスに変更するリニューアル工事をしました。また、港第二育成園においては1992年(平成4年)の建築後、1997年(平成9年)に地域生活支援センター(現:メープル)を建て増ししており、継ぎ足しで配管等を設置したことから漏水が発生しています。この漏水についてはおおよその原因を突き止めることができましたが、修繕にとりかかる直前に、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、資材の納入が停滞しているため修繕工事を中断をしています。

この他に法人で実施している事業としては、大阪市からの委託事業として、「区障がい者相談支援センター事業」と「障がい者就業・生活支援センター事業」の2事業を2018年度(平成30年度)から3年間引き続いて同事業を受託し相談支援を実施しています。また、大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合(通称「エル・チャレンジ」)からの受託事業も担っており、障がい者の就労機会の拡大と社会参加の促進に努めました。

障害福祉サービス事業

- ア 東成育成園の経営
(生活介護25名 就労継続B型25名)
- イ 港育成園の経営
(生活介護40名)
- ウ 港第二育成園の経営
(就労継続B型40名)
- エ ワークスいけじまの経営
(就労継続B型20名)